

「いろいろな工夫が盛りだくさん!」ぬまづのエコを大公開!

応募総数は
42チーム!
みどりのカーテン
フォトは43作品!

投票受付開始!
あなたはどの
作品を選ぶ?

第9回

ぬまづ エコ活動 コンテスト 2018

9th NUMAZU
ECO ACTIVITIES
CONTEST
2018

気軽に挑戦
できる「エコ活動」
がいっぱい!

審査員は
そのあなた!

◀ スマホからお気に入りの
作品に投票しよう!
(投票先QRコード)



★「いろいろな工夫が盛りだくさん!」ぬまづのエコを大公開!★



第9回 ぬまづ エコ活動 コンテスト 2018

9th NUMAZU
ECO ACTIVITIES
CONTEST
2018



目次

- 3 | **ぬまづエコ活動コンテストって? 投票方法**
- 4 | **まちのエコ** (地域部門)
- 8 | **こどものエコ** (幼・保・小中学校部門)
コラム 加入してみませんか?「こどもエコクラブ」
- 10 | **おうちのエコ** (個人・家庭部門)
コラム 知っていますか?「食品ロス」
- 12 | **みんなのエコ** (高校以上・職場・団体部門)
コラム プラスチックごみ問題について
- 14 | **みどりのカーテンフォト** (一般部門/企業部門)
- 16 | **沼津市の取り組み**
- 18 | **「エコ情報」好評発信中!!**



ぬまづエコ活動コンテストとは？

各部門から選ばれたお気に入りの作品に投票しよう！

市民一人ひとりが身の丈にあった身近なエコ活動に取り組む「エコのまち沼津」を推進するためのイベントとして、「ぬまづエコ活動コンテスト」を平成22年度より開催しています。

今回は集まった6部門合計88作品のうち、一次審査を経て決まった18作品を対象とし、皆様の投票で各部門のNo.1を決めます。

「地球温暖化対策の講座」、「地域での清掃活動」、「電球のLED化」など、様々な作品が集まりました。一つひとつが「エコのまち沼津」につながる貴重な活動です。



応募総数は42チーム！（みどりのカーテンフォトは43作品）。
部門ごとに選抜された上位チームに投票して、No1を決定しよう！

投票方法

① 冊子を読んで、部門ごとの投票対象からお気に入りを1つずつ選ぼう！（全6部門）

（※投票対象は、応募された全チームの中から内部選考により選出された活動です）

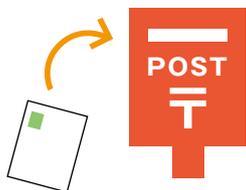
② 好きな方法で投票しよう！

A 投票箱へ投票する



沼津市役所7F環境政策課と、各地区センター窓口等（※）に設置される投票用紙に記入して、投票箱へ投票してください。

B はがきで投票する



裏表紙の投票用紙（コピー可）を貼り付けて、沼津市役所環境政策課まで郵送してください。

C インターネットで投票（投票システム）



<https://www.shinsei.elg-front.jp/shizuoka2/uketsuke/sform.do?id=1543312641664>

上記URL、QRコードにアクセスして投票してください。

D facebookで投票



<https://www.facebook.com/econumazu>

Facebookアカウントをお持ちの方は、上記アドレスからも投票できます。

投票メ切 ▶ 平成31年1月31日（木）まで！

※第二地区、千本地区については、「千本プラザ」に投票箱を設置します。

地域で広がる
エコ活動の輪
あなたも参加して
取り組みを広げよう！

まちのエコ

地域部門

自治会や地域のコミュニティによる活動を紹介します。
応募総数21チームから選ばれた3チームのうち、好きなチームに投票しよう！

エントリ、 1

豊かな町豊かな心を作る豊町

グリーン×クリーン



豊町のエコ活動は8年目に突入!!身近な自然を残したいと始めた雨水貯留池の保全保護活動。その大切さを理解するために、今年度はゴミについての学習会から活動をスタート!6月の『ほたるみようかい』は上流での浚渫工事の影響を心配しましたが、今までの中で一番多くのホテル乱舞を見る事ができ、生命の逞しさに感動しました。会員は微減ですが幅広い年齢層の交流を楽しみながらエコ活動を行っています。今後も活動ニュースを広報誌で回覧し、エコ活動の重要性と楽しさを伝えていきたいです。

エントリ、 2

大岡地区 エコ教室の開催

大岡コミュニティエコ活動



昨年、大岡地区で初めて、「エコ教室」を開催し、今年は第2回目です!当日は、37名の参加者と一緒に、「地球温暖化の現状と対策」の講義、「自転車発電や手回し発電」の体験、「温暖化防止に向け自分たちにできること」をグループ討議し、大岡小、大岡南小の児童が発表を行いました。お土産には小学校給食(大岡小・大岡南小)から出た廃油をもとに、地域の協力を得て作成したアロマキャンドルを配付し、大好評でした!

地域、学校、行政、各種団体と協力した結果、エコ活動の知名度が上がりました。また、エコ教室で学んだことから、「自分ができるところのエコ活動」を整理し、一人一人が行動する内容が明確になりました。

エントリ、 3

平成30年(夏季) 門池公園一斉奉仕清掃

門池連合自治会と門池中学生



門池公園の美観を維持するための定例奉仕清掃!
(年2回)

目 標 …「門池の景観を保ち、地域の方々との親睦を深める」

テーマ …「地域の共同作業を年代等にこだわらない交流の機会に」

参加人員…計600人 (1)連合自治会の住民
(2)門池中の生徒(135人)

清掃時間…1時間

<暑い盛りなので、熱中症防止のため、短時間作業とするなど工夫しました。>

結 果 …トラブルもなく、多くの参加者の協力により無事に終了!!

ゴミ籠を置いて調査③



戸田地区のエコリーダー

駐車場下の岩場にごみをいっぱい捨てておりました。駐車場にゴミ籠を置いて調査を開始し、今年で3年になります。最初は、かなりの量のごみが捨てられていました。蓋がないので、カラスがつついて散らかしました。これを直したら、下へはあまり捨てなくなりました。内訳は、燃やすごみ50～60%、カン10～20%、ペットボトル30～40%、ビン2～3%です。汚れたペットボトルはリサイクルに回せません。世界遺産の富士山を望む眺望らしい足元がゴミだらけではみっともありません。

7/23港まつりのゴミ拾い



環美・富士の山

環境美化指導員の行事としてこの日にごみの持ち帰り、ごみを捨てない啓発活動を行っています。(のぼり旗、ティッシュ配布) 港まつりは、戸田地区海岸の中央棧橋付近で行われ、すぐそばは海です。ごみは放っておけば海へ落ちます。これを防ぐために、ゴミを拾いました。今年は去年よりゴミも少なくきれいでした。タバコの吸い殻、プラ容器、プラ袋が目立ちました。海面にはごみは浮いていませんでした。

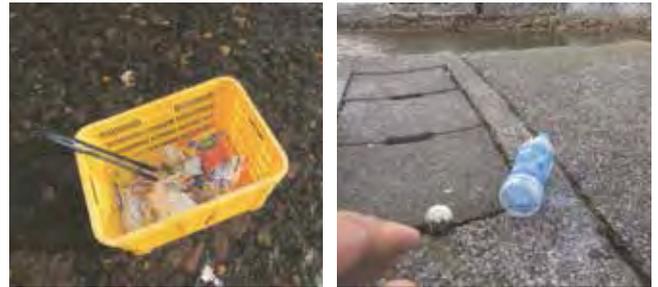
外灯のLED化による電気代



入浜自治会

入浜自治会では7、8年前から徐々に外灯のLED化を図っています。平成29年8月現在で、全外灯56本中LEDは32本、普及率57%。電気代は、(H26)167,923円(H27)150,496円(H28)128,750円(H29)138,535円でした。(H29は交換なし) 全外灯をLED化すると、電気代の節約(試算で50%)、とCO2の削減になります。自治会の電気代の負担金が減るため、初期投資を含めて3～4年で元は取れごみの減量化にもつながります。

家の横の道龍川のゴミ拾い



入浜自治会環境美化指導員

上流からは、ポイ捨てや風に飛ばされてきた缶、ペットボトル、プラゴミ及び発砲スチロールのようなゴミが流れ、干潮で川底にあらります。下流からは、台風の波で押し上げられた不法投棄のタイヤやゴミが逆流してきてはここに留まります。プラゴミはやがて「海洋ごみ」となり、写真を撮り報告する役目の環境美化指導員といえども、見るに見かねて拾うことが数多くあります。

地産地消を普及する会



しおみちエコ運動推進会

平成19年に、直売所を示した「地産地消マップ」を作り町内に回覧しました。これを期に、地元を中心に地産地消が浸透し、安心・安全と朝採の新鮮さがウリとなり、近郊からも人が訪れ、販売時間前から賑わいを見せています。しかし、近年は高齢化が進み、大変さもあって後継者がなく、人手不足が深刻です。地産地消の灯を少しでも長く続けるために、しおみちエコ運動のメンバーが中心となり、20人前後で、農家から畑を借りうけ地産地消に取り組んでいます。今年は1月に竹林の整備を行い、春には約400キロのタケノコを収穫して茹でて販売しました。春に苗を植えたスイカは収穫前にカラスに襲われ、約60個が被害にあいましたが、何とか収穫でき苦労が報われた瞬間でした。暑さと、雑草とりに追われ、農家の方たちの苦労がしみじみとわかる、素人集団の地産地消にかける夢です。

マイクロプラスチック問題の啓発



環美・富士の山

メンバーが入れ替わったので、テレビ録画と新聞記事を使い、戸田地区センターでプラごみに関する研修会を開催しました。研修では、5ミリ以下のマイクロ化されたプラごみが海洋を漂流し、ゴミベルト区域を作り、プランクトンが食べ、これを小魚が、そしてカツオやマグロが食べるという連鎖が続けることがわかりました。私たちにできるのは、海岸ゴミを拾うこと、船の艦(とも)から目の細かい網を引っ張ってプラゴミを拘うことです。この内容を多くの人に啓発し、63キロメートルの沼津全地区の海岸清掃に繋げていきたいです。

御浜岬の清掃活動



環美・富士の山

平成29年10月の台風はひどく、堤防を乗り越えて、御浜岬の松林までゴミが上がりました。岩場にぶつかった発泡スチロールが粉々になり、各所にゴミ山ができました。私たちが3回にわたり清掃活動をしたが、拾いきれず、市や県が重機で外海、内海を片付けました。平成30年5月には戸田中の主催で、総勢150-200人が参加して清掃活動を行いました。この活動もすでに20年以上になります。それもまた、6月の大雨でゴミだらけとなってしまいました。

バランの材質をプラから植物へ



戸田のエコリーダー

海岸ゴミを長年拾っていると、緑色プラスチックの葉蘭“バラン”に気付く。本来は植物で作り、防腐、消臭のためのもので、これではただの飾りである。今日、プラ製品の海洋に与える影響は世界的に問題視されている。沼津の食料品から本来の植物に戻す運動を起こすべく思う。今年になって、EUではプラ製品のフォークやスプーンをなくそうとしている。アメリカの某店でもプラ製のストローをやめようとしている。我々沼津市民も身近なところからプラ製品を本来の植物に戻すべき!—世界の潮流に乗るべきではないか—

指導員の任務外で各自治会のゴミを拾った



環美・富士の山

美化指導員の任務をしながらごみを拾った。写真に撮るだけでなく、実際に拾わなければきれいにならない。報告書からゴミ拾いの状況を整理した。
 <新田>新田区の中の道路でゴミを拾った。
 <口南>ゴミ、缶を拾った。
 <小山田>歩いている時でも気がついたら道のゴミを拾うようにしている。福石橋付近のゴミを拾った
 <大中島>ウォーキングをしながらゴミを拾っている。
 <中上>桜並木(花見の顔)のゴミ拾い、草刈り、雑木狩りをしている。

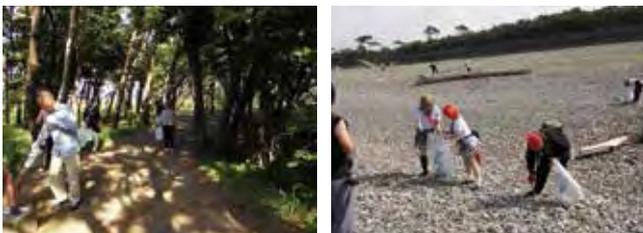
井田漁港の海岸のゴミ



戸田地区環境美化指導員

井田漁港の周辺に強風が吹くたびに、ゴミが打ち上げられ、プラスチックごみなど色々なゴミで浜を汚されるので、何とかならないかと思っています。井田は少人数の部落で、行政の目も届かない不利があると思います。釣り仲間、ダイビング組合と一緒に片付けているが、何度も打ち上げられると間に合いません。そのときは行政で支援をしてもらえないでしょうか。

千本松原をいつもきれいに



千本 松原

千本地区では、富士山の世界文化遺産登録もあり、千本松原、海岸の清掃を環境エコ活動の取組みを推進しています。今年も千本海岸の清掃にラブライブ!サンシャイン!!のサポーターの参加がありました。(森林の清掃も)さらに町内の河川、緑道などの清掃も有志で行っており、松林の清掃は各自治会が複数回にわたり個別に行っています。連合自治会全体の清掃は11月予定とし、海岸の一斉清掃は7月に実施しました。子どもを含めた家族ぐるみの参加を呼びかけています。

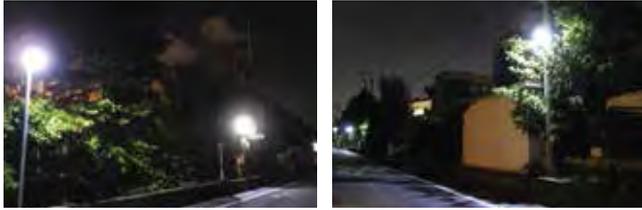
ポイ捨てゴミゼロの町づくり 大岡地区公園編



大岡コミュニティ環境美化部

環境美化部では数十年来清掃活動を継続してきたが、何を実現するために活動しているのか不明であり、やらされ感が強くマンネリ化が進行していた。そこで、組織の活性化とやりがいを実感できる新たな活動展開にチャレンジすることとした。
 啓発活動:①看板の設置、②大岡駅でのティッシュ配り、③広報誌「コミュニティ大岡」での活動紹介、④大岡夏祭りでのゴミステーション設置及び分別指導 他
 減量活動:公園内及び公道のゴミ拾い
 結果:ポイ捨てごみゼロ公演が4公園実現!
 個人の意識・考え方が違い、同じ目線での活動が困難であったが、目指す姿の明確化により、実現するための方法論が議論しやすくなった。また、自分たちが使用する公園の自主管理の意識づけができた。環境美化部内で基準を数値化し、評価の透明性の向上と、共有課題の認識向上に繋がった。

防犯灯LED化推進



中住町“夜道を明るく”委員会

町内には21灯の防犯灯が設置されています。以前は、全て蛍光灯であり、球切れが多い年度では7~8灯発生していました。取り付けが高所であり、安易に交換できないので、業者に依頼する費用は自治会負担となっています。また、電気代も自治会負担です。短い期間でも不点灯があれば安全性が損なわれるため、寿命が長く電気料も低負担(蛍光灯比40%)かつ、明るいLED防犯灯への更新を始めました。更新地区は第四中があり、香貫山が近く、暗くなりがちな町内東端から始めました。本年度5灯更新を予定しており、地区は第四小への通学路となる町内西端を検討しています。今後、早期に防犯灯全LED化を完結させ、低炭素化、エコ化に貢献していきたいと思えます。

防犯灯のLED化



住吉町LED

平成24年度より防犯灯LED交換対策を行い、平成30年5月18日に残り6箇所をLED防犯灯に交換し、町内43箇所の全防犯灯をLED防犯灯に取替え完了しました。年間にして1灯あたり¥1,629の減額になり自治会負担も軽減しました。

愛鷹地区 生ごみゼロ化を目指して



愛鷹地区コミュニティー推進委員会 エコ推進部会

沼津市の燃やすゴミは生ゴミの比率が高く、焼却に燃料が必要など、焼却設備の負担になっているそうです。生ゴミを何とか減らせないと考え、ダンボールコンポスの有効性と問題点を実際に製作・試用して把握することにし、27年度から挑戦してきましたが、途中で挫折する参加者が続出し、実用化には至っていません。今年度は新しいメンバーのうち、家庭に容器を設置可能な10名が6月に容器を作成し、試用をはじめたので報告します。何とか挫折しないで年末頃まで試用し、有効性を確かめる予定です。有効性が確認できれば、各自治会内に広める活動をしていく予定です。

愛鷹地区グリーンカーテン展開作戦



愛鷹地区コミュニティー推進委員会 エコ推進部会

23年度途中(8月)からコミュニティーに『エコ推進部会』を発足し、活動を始めた。今年も7年目として活動している。今年は、グリーンカーテン用苗を育苗・配布し、コンテストを実施、地域の自治会内の各家庭でグリーンカーテンに広く取り組んでもらった。費用を抑えるため苗を種から育苗したが、全員素人で水やりや温度管理(トンネルの開閉)など大変苦労した。また、エコ推進部会でも地区センターに総計約54m幅のグリーンカーテンを設置、鷹の子農園(愛鷹小学校の農園)にも3ヶ所(総計約28m幅)のグリーンカーテンを設置した。今後、グリーンカーテンコンテストを設定してPRし、優秀作品は表彰し、また、全応募作品を展示する予定。

納涼祭における環境美化活動



第一地区

納涼祭において毎年各町内から出店が出て、子供達や地区の人々が楽しみながら納涼祭を満喫し焼きそば、フルーツ、かき氷等、目当ての物を買物したり飲食しています。その際に出るごみについて、簡易ゴミ箱を作成し、分別回収していましたが、焼きそば等についての割りばしを別の容器に入れるよう、燃えるゴミを二種類に分けました。その結果、最後の片付けもスムーズに行われました。

花いっぱい 水やりみまもり



第一地区

今回初めて、防犯と学校との協力により『花いっぱい水やり見守り』の地区ボランティアを募りました。2年生の児童達が、それぞれ思いの絵や名前をプランター描きました。そのプランターに、佐藤種苗店の協力を得て、「マリーゴールド」や「ペチュニア」を植え、通学路沿いの希望者の家に配付しました。子供たちの登下校の時間帯に合わせ、水やりなどの世話をしながら、子供達を見守るという地区と学校との連携した取り組みを行っています。

ぼくにもわたしにも
できることがある
地球のために
頑張っています！

こどもの エコ

幼・保・
小中学校
部門

市内小中学校、幼稚園、保育園の子ども達の
取り組みを紹介します。
応募総数10チームから選ばれた3チームの
うち、好きなチームに投票しよう！

エントリー 1

打ち水をして暑い夏を乗り切ろう！ ぬり絵でエコを身近に感じよう！

新沢田町子ども会



【打ち水】地球に優しい暑さ対策として「打ち水」が再注目されています。子供会で行うことにより、日本の伝統的な涼み方を知り、ご家族でも朝夕に取り入れてもらえたらと思い、ラジオ体操後に実施しました。

【ぬり絵】作業中は時間が経つのを忘れてしまうので、「日々の生活の中でのエコ活動」として意識づけを行いました。出来上がったぬり絵は各家庭の見える場所に貼り、自分でエコ活動を心がけてもらいます。また、各施設への貼りだしをお願いし、町内の活動を様々な人に知ってもらいます。

【感想】友達同士、家族でぬり絵や打ち水をすることで、お互い意見を出し合いながら、活動の意識づけができたと思います。

エントリー 2

清掃活動

天神ヶ尾子供会



年に4回行われる防犯パトロールでは、子どもたちがゴミ袋を持って町内を回ります。交通量の多い通りのポイ捨てがとても多く、縁石の陰にはタバコの吸殻や空き缶などが転がっています。町内一周を自治会の役員さんや有志の方々で色々なルートを清掃して回ります。

また、各家庭ではペットボトルキャップを集めて、パトロールや行事の時には持って来ていただいて、集まったキャップを近隣店舗を介してエコキャップ運動に参加しています。今年は春に20kgの寄付をすることができました。

エントリー 3

一中から始める 残飯0の道

しゃも次郎



今回の応募は、身近にできるエコ活動を言語科の授業で扱ったことがきっかけです。様々なエコ活動を考えた上で、昨年度の本校の残食率が比較的高いという課題から、2学年では残食0を目指そうと取り組みが始まりました。

好き嫌いなく食べるだけでなく、食缶にご飯粒やおかずが極力残らないよう配膳を工夫したり、欠席者が出たときや配膳後におかず等が余ったときは、全員に均等に分けたりと、いろいろ考えて配膳を行っています。

ペットボトルキャップ回収



駿河台子供会

家庭でできる身近なことから始めようと、今年もキャップ回収を行いました。子供たちの間でもペットボトルのキャップは捨てないで集めようという意識ができてきたように思います。今年は5,034個(約6人分)集まりました。キャップはリサイクルすることによりCO2発生を抑制したり、キャップ800個で1人分のワクチンにもなる事等日々の生活の中で少しでもエコに対して興味を持ち、意識していく事でエコ活動の輪が広がっていけば良いと思います。



キャンドル ナイトに挑戦 しよう!!



寿町子ども会

節電を日頃こまめにやっている人も多いですが、いっそのこと全てOFFにするキャンドルナイトを2日間やってみようとしてみました。ライトは、各家庭で工夫してもらいました。幼い子どものいる家庭でもキャンドルをつけてやっている家庭が多かった。見たこと、肌で感じたこと、においなど子どもならではの正直な感想がたくさんあり、エコ活動はやってみることが大切だと思いました。

いつもきれいな歩道橋



江原町子供会

毎月1回、金岡小前に1つ、国道1号とリコー通りにまたがる歩道橋の2つを班ごとに清掃しています。通学路であり、大きな道路をまたぐので、利用する人が多く、様々なゴミが落ちていきます。清掃してから数日後、歩道橋を利用する子供から「今日もゴミはなくてきれいだったよ。」と話してくれて、江原町の子供達は「いつもきれいな歩道橋」の意識が芽生えているのを感じました。今後「いつもきれいな歩道橋」をみんなで保ち、大切に利用していきたいです。



エコキャップで 世界の子供達に ワクチンを!



長塚町子供会

7月8月の資源ゴミ回収日にエコキャップを入れるバケツを町内2カ所に設置しました。子供会だけでなく自治会へも呼びかけ短い期間でしたがたくさんのキャップを集めることができました。

長塚の文化財の 未来のために

長塚町子供会

文化財でもある長塚古墳をみんなで協力し清掃しました。普段みなさんに大切にしてもらっているからか、ゴミはほとんどありませんでした。今後も歴史を子供達に伝えながら続けていきたいです。



ペットボトル キャップ 回収



中沢田子ども会

キャップをごみとしてしまうのではなく、まとめて替えることで、「身近な活動が世界の誰かの役に立つ」ことを子どもたちが知り、他のエコに対する認識の拡がりの契機となるよう、5年以上前から行っています。6月からキャップ回収と家庭での保管について定期的に依頼し、8月の中沢田盆踊り大会時に回収箱を用意して回収しました。45Lごみ袋約2袋分、約3,200個、7.44kg回収し、夏祭り終了後、近隣のスーパーに届け引き取って貰いました。今年度は、キャップを回収箱に入れることを子どもたちに楽しく体験して貰いたいと思い、不要になった段ボール箱や、裏紙を利用して飾りつけました。

グリーンカーテン (スイカ、メロン、まくわうり、ゴーヤ) の植え付けと管理

沼津市立愛鷹小学校
学童保育タンポポクラブ

先生方の提案を受け教室前の空いている花壇を利用してグリーンカーテンを設置しました。5月初旬にネット張り、最初にスイカ、メロン、まくわうりを花壇内に植え、地域配布のゴーヤを花壇の外側沿いに植えました。7月にはスイカ、メロンの生育が進み、スイカは早く実をつけたため、子供達も楽しみにしており、収穫体験も一部の子にさせてあげることができました。収穫したスイカをおやつ時間に食し、子供達も嬉しそうでした。8月に入りゴーヤの成長著しく、手の届かない高さにもたくさん実をつけるようになり、高校バサミでたくさんの子供達に収穫体験をさせてあげることができました。ゴーヤはお迎えのお母さん方への配布や、希望する子に渡しました。希望する子が多くいた事には驚きました。各家庭でゴーヤの苦味をおさえる工夫をして食べさせていただけたいと思います。



コラム 加入してみませんか? 「こどもエコクラブ」



こどもエコクラブは、幼児(3歳)から高校生までなら誰でも参加できる環境活動のクラブです。保護者・指導者、自治体、企業・団体等の支援により、こどもエコクラブ全国事務局からプログラムや学習の場の提供をしています。様々なクラブの活動がありますので、興味のある方は、公式ホームページ <http://www.j-ecoclub.jp> で検索するか、環境政策課までお問い合わせください。

「明日から
やってみよう！」
ひとりから始める
エコ活動！

うちの エコ

個人・家庭
部門

個人や家族で取り組む、環境にもおサイフにも
やさしい取り組みを紹介します。
応募総数8チームから選ばれた3チームの
うち、好きなチームに投票しよう！

エントリー 1

ダンボールコンポストを実施して4年目



今年は講座を受けてから4年目です。箱は2年使うと内側は剥がれてきますが、まだ使えるので使うことにしました。鶏肉の骨、卵の殻、玉ねぎの皮は残りますが、乾いていて肥料として良いです。悩みの種はハエ。特に5～6月が大変。対策として、シャベルより柄付きのもので万遍なくかき混ぜるのが効果的です。7月中旬からハエがあまり出なくなりました。(これも今年の暑さのせい?) ゴミの中の温度は、室温より2～3度高く、発酵しているのでしょうか。

講座を受けても、自分で何回もやってみないとわからないものです。自分で様々な工夫をこらしたコンポストを実践してみてください。

エントリー 2

雑紙回収



学校に通う子どもが家族にいると、学校からもらうたくさんのプリント類や古くなった教科書、遊びに使った紙片等がたくさん家の中にあります。

気かけず、ついゴミ箱にいれてしまう紙を、古紙回収にまわせるように、子ども達にもわかる所に回収袋を設置してみました。回収袋は、資源を大切にするため使用済みの紙袋を利用しました。

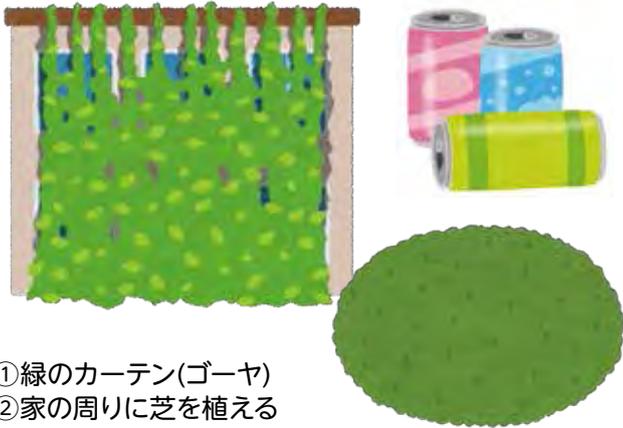
エントリー 3

室内灯のLED化で電気代、CO₂10%削減



居間の6畳の蛍光灯が故障したのをきっかけに他の部屋も、電気店でLEDを購入し交換。費用は、居間6畳3間と台所の蛍光灯、キッチンライト、合計43,000円！これで我が家はほとんど”LED”。今から1～2年前に便所、玄関、階段はLEDにしていますが、あまり使われない所で電気代の変化がありませんでした。しかし、今回はよく使うところをLED化したためか、電気代を見て変化に気づきました。電気をすべて化石燃料で燃やして起こしていると仮定して、電気代から推定すると我が家は43,000円の先行投資で、約10%のCO₂削減になったようです！おススメでは！

船山地区の環境美化



- ① 緑のカーテン(ゴーヤ)
- ② 家の周りに芝を植える
- ③ 芝の外側に花を植える
- ④ 舟山地区全体の、カン、ビンを拾い集める

家庭でしているエコ活動



電気代がかかるので「トイレの便座はマットを厚めにしたら冬でも使うことをやめた(買う時は、ちょっと高いと思ったけど、長く考えると得だと思います)」「夏場はシャワーを使う」「電気はこまめに消す」

ご飯をおいしく節電



炊飯器でご飯を炊いた後に冷凍し、食べる時にチンすると節電になるらしい。「粗熱を取ってから冷凍」が一般的であり、そのように食べていた。しかし、「炊き立てをすぐに耐熱パックまたはラップに包み、その上にアルミ箔を巻いて冷凍」がいいとテレビで知った。実際にやってみたところ、確かに今までよりもご飯がおいしい!! (温めるときは必ずアルミ箔をとってから!)

みんなが大好きな夏の温水プール



ゴミ焼却所にある水槽で、温度84℃に温められたお湯(使用前)をもう1つの水槽まで運び80℃位になったお湯(使用后)をまたゴミ焼却所の水槽へ。ぐるぐると150トンのお湯を循環しながら温めていきます。こうしてプールの温度はエコでありながら、温かいお湯が保たれているそうです。みなさん、今年の夏に一度は行ってみたいエコな沼津市屋内温水プールですね。

おうちで出来るエコ



現在、地球温暖化が問題とされています。日常生活の中でエコを意識することで、光熱費が節約でき、それがCO2削減につながります。今年の夏は暑く、エアコンを28℃設定で使用することは難しかったです。扇風機を併用したり、カーテンを閉める等してみましたが、厳しい暑さでした。車の使用方法については、改善できることがあると感じました。使用を減らし、エコドライブを心掛けたいと思いました。

コラム 知っていますか? 「食品ロス」



食品ロスとは、まだ食べられるのに廃棄される食品のことです。日本では、年間2,842万トン(※)の食品廃棄物等が出されています。このうち、まだ食べられるのに廃棄される食品、いわゆる「食品ロス」は646万トン(※)。これは、世界中で飢餓に苦しむ人々に向けた世界の食糧援助量(平成26年で年間約320万トン)の約2倍に相当します。また、食品ロスを国民一人当たり換算すると「お茶碗約1杯分(約139g)の食べ物」が毎日捨てられていることになるのです。「もったいない!」と思いませんか?

「多くの仲間と
楽しみながら」
みんなで取り組む
エコ活動！

みんなの エコ

高校以上・
職場・
団体部門

高校生以上、職場やNPOなどの団体による
取り組みを紹介します。
応募総数6チームから選ばれた3チームの
うち、好きなチームに投票しよう！

エントリ、 1

市の木、市の花を育てて

美浜クラブ



市の木「マツ」、市の花「ハマユウ」は戸田地区の御浜岬に自生しています。ハマユウは消毒をしないと虫に食われて枯れるため、海岸に揚がる藻を敷いて対策とし、「オルトラン」を2人で2.5kg散布しました。

マツは黒松。毎年3月に戸田小学校卒業記念事業として、植樹の準備、手伝いをして8年になり、最初に植えた松は立派に育っています。小中学校主催の御浜岬の清掃活動にも参加しました。地引網の準備には一部の人が手伝ってくれています。会員が高齢化して、脱退していくのが悩みです。他にアジサイ、スイセン、スカシユリ、ツバキ等の管理をしており、今は彼岸花に挑戦中です！

エントリ、 2

放課後児童クラブ 環境学習会

エコネット沼津



小学生に「環境」を考えるきっかけとなるよう、市内の放課後児童クラブを訪問し、環境学習会を開催する活動は7年目を迎えます。今年は、8クラブで「ゴミをポイ捨てしない」をテーマに約180人の児童にゴミの分別などを実践してもらいました。低学年には、飽きさせず、わかり易い言葉で伝えることに苦労しますが、紙芝居の活用や、秤を使った測定を実践することで、興味を持って話を聴いてくれる姿が多く見られます。指導員の先生から、「児童の行動に変化があり、ゴミを絶対にポイ捨てしないとっています」というお便りもいただきました。子どもの生活に定着するように、今後も学習会を続けていきたいです。

エントリ、 3

食べきれぬ量を盛る

きさらぎ



昨今、「食品ロス」が問題視されています。食べ残し、賞味期限・消費期限切れなどで、おいしく食べられるはずなのに仕方なしに廃棄されてしまう食糧が年間に何百万トンと発生している中で、「これを少しでも削減することはできないか？」ということで、きさらぎでは「盛りすぎない」ことを心掛けています。

施設内には少食・多食のメンバーさんがおり、食事の量は人それぞれです。食べきれぬ量の食事を自分で盛ることで食品ロスが減る、簡単なことですが大切な取組みかと思えます。たくさん盛った方が見た目も華やかになりますが、余りものを減らし、捨てることを減らすことは、気持ちが晴れやかになります。

花いっぱい運動



戸田花の会

朝顔、夕顔が咲いています。公園に夕涼みに来てください。

自生ホタルの環境保護



戸田ホタルの会

戸田地区におけるホタルや身近な生き物について生息環境の調査・研究をするとともに、会員等の環境教育の推進、ホタルの舞う水辺の環境保全または再生活動を実施しました。また、他地区のホタルの生息状況を視察し、研修会を実施しました。

ホタルの生息調査



戸田ホタルの会

戸田ホタルの会で、主に生息調査を報告しています。
 平成29年度のホタルサミットが行われた都市です。
 戸田で鑑賞会が行われた時の事前調査結果を報告します。



プラスチックごみ問題について

プラスチックごみによる海洋汚染

世界的にプラスチックごみによる環境汚染・海洋汚染が問題となっています。ストローが鼻に刺さったウミガメや死んだクジラの胃からポリ袋やペットボトルなどの大量のプラスチックが見つかるなど生態系に深刻な影響を及ぼしています。海洋に流されたプラスチックは、波や紫外線の作用で細かく砕け粒子状の「マイクロプラスチック」となり、有害化学物質を吸着、魚などが摂取し蓄積され、食物連鎖の過程で、人の健康にも影響する恐れが指摘されています。

世界経済フォーラムの報告書(※2)によると、2050年までに海洋中に存在するプラスチックの量が、魚の量を超過すると予測されています。(重量ベース)

プラスチック資源循環に関する企業の取り組み

一方で、プラスチック資源の循環について、世界規模の企業では様々な取組みや方針が打ち出され始めています。(以下一部を紹介)

○コカ・コーラ

PETボトル素材としてリサイクル素材あるいは植物由来PETの採用を推進し、2030年までにPETボトルの50%をリサイクル素材にすることに挑戦すると2018年1月に発表

○ネスレ

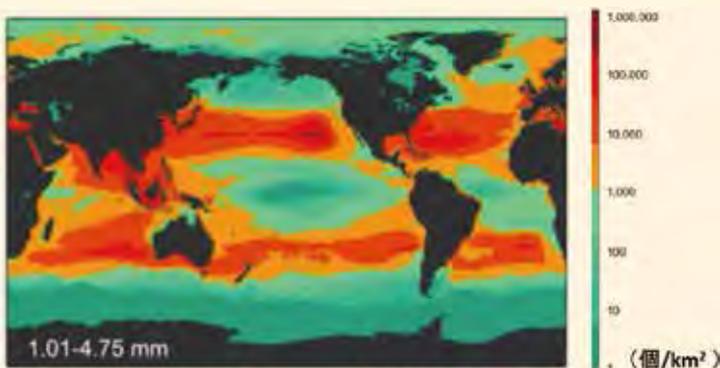
2025年までに包装材料を100%リサイクル可能、あるいはリユース可能にする長期的目標を2018年4月に発表

○マクドナルド

2025年までに、顧客用容器包装の100%に再生可能、リサイクル、または認証済み資源を使用し、特に森林管理協議会の認証を優先する目標を2018年1月に発表

○スターバックス

プラスチック製使い捨てストローの使用を2020年までに世界中の店舗で全廃すると発表。今後はストローを使う必要のない蓋を提供するほか、紙製や堆肥化可能なプラスチック製のストローを導入すると2018年7月に発表



マイクロプラスチック(1~4.75mm)の密度分布(モデルによる予測)

出展)環境省 平成30年8月「プラスチックを取り巻く国内外の状況」より
 ※1 画像(引用)Eriksonら(2014), "Plastic Pollution in the World's Oceans: More than 5 Trillion Plastic Pieces Weighing over 250,000 Tons Afloat at Sea", PLoS One 9 (12), doi:10.1371/journal.pone.0111913
 ※2 本文(引用)The New Plastics Economy: Rethinking the future of plastics (2016, Jan. World Economic Forum)

「目にも、お財布にも
体にも、良いこと
いっぱい!」夏の
日差しをさえぎる
自然のカーテン!

みどりのカーテンフォト

一般部門
&
企業部門

夏場に省エネ効果を発揮!「緑のカーテン」の
写真が43点集まりました!
選ばれた上位作品から、お気に入りをつ
ずつ選んで投票しよう!

エントリー
1

一般部門



写真は朝顔と芋のつるです。
きつい西日の日よけ対策として育てています。カーテンの内側に黒色の遮光布と簾を張り、その上にプランターで植えています。まだカーテンとしては物足りません。今までにキュウリ、メロン、ゴーヤと挑戦してきましたが、今回は朝顔にしました。

エントリー
2

一般部門



ゴーヤ。
夏の強い日差しを少しでも防ごうと、南西の窓の外に植えました。毎年同じ場所ですが、よく育ってくれています。遮熱効果は抜群です。

エントリー
3

一般部門



植えたのは白いゴーヤで、形・色・つやともによい、大きな実が沢山なっています。
苦くないので、サラダなどにして食べました。幅5.5m、高さ4.5mの広いカーテンで、結構、効果がありますが、今年の猛暑ではエアコンも結構使いました。なお高さが高いので、高い脚立に登っての収穫など作業は大変でした。

エントリー
4

一般部門



朝顔。横幅 約12m 高さ 約2m
朝顔は大変きれいだが、フェンスに巻き付かせるのに手がかりました。撤去時はもっと手がかりそうで、よい方法がないか、模索中です。

エントリ
1



企業部門

アオキ・イモ・ゴーヤです。
南側が更地となり、直射日光が建物にまともに当たるようになってしまいました。みどりのカーテンが無いと、室内が暑くて冷房が効きません。
びっしりとつるを張らせて効果抜群！

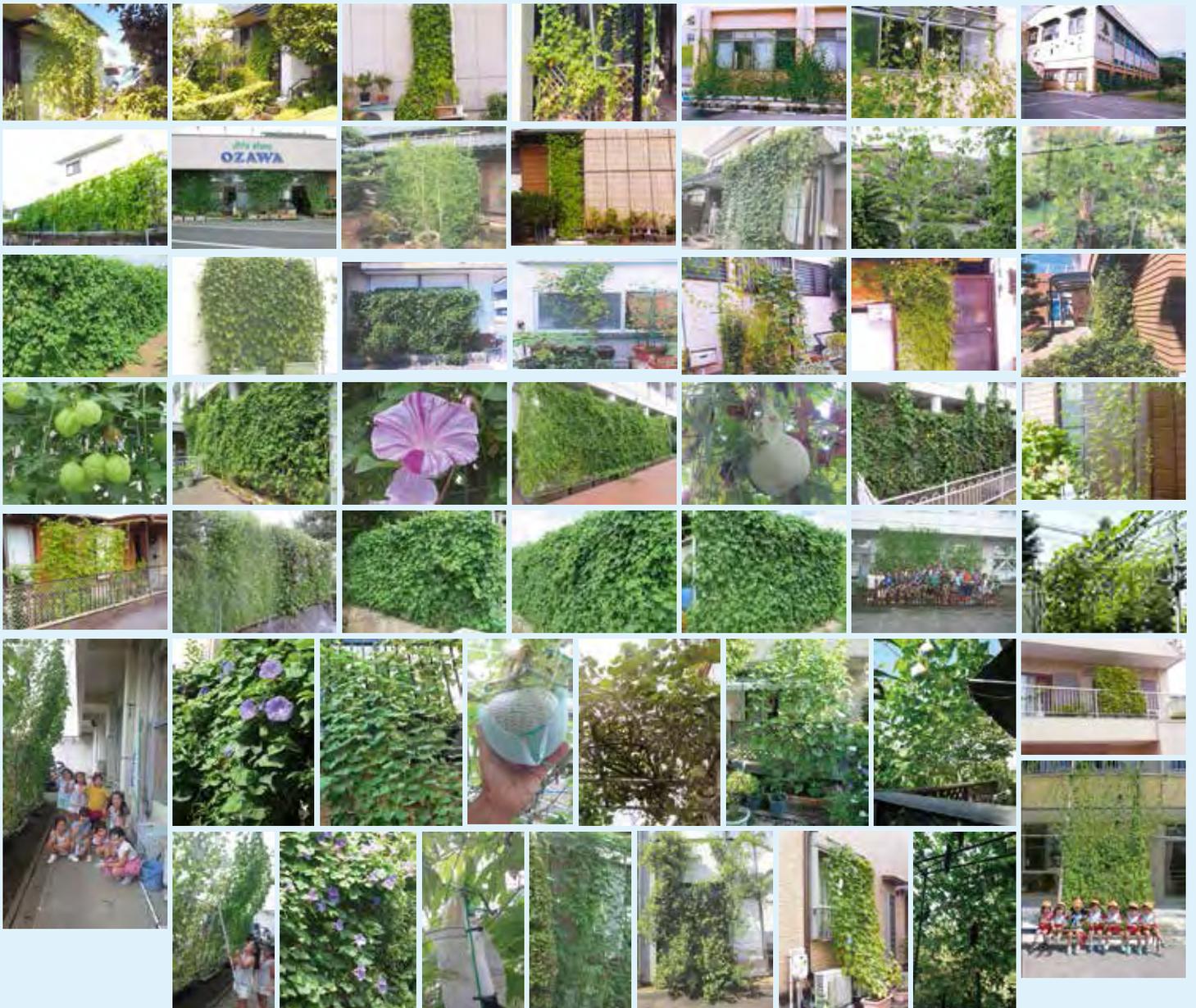
エントリ
2

企業部門



今年の夏は、なんと暑いことでしょう。保育室お南側花壇にゴーヤの苗を植えてゴーヤの日よけカーテンで涼しげな気持ちになればと思い作りました。園児達が毎日、小さなじょうろにお水を入れて、水やりをしました。そのおかげで、今年の夏もゴーヤはすくすく育ち2階にまで届きました。
さあー、今日も元気よく！あそびます。

★ 残念ながら投票対象とはなりませんでしたが、その他の応募作品も力のかもった活動ばかりです。こちらではそのすべてを、紹介します(投票は行うことができませんのでご注意ください)。★



ぬまづのみんなで
考えよう！
「沼津のこと」
「日本のこと」
「世界のこと」

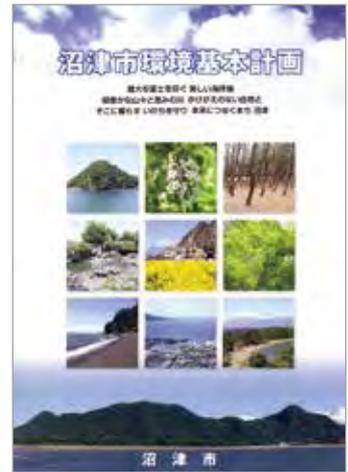
沼津市の 取り組み

かけがえのない自然とそこに暮らすいのちを守り
未来につなぐため、沼津市が進める環境行政を
紹介します。

沼津市環境基本計画

地球温暖化をはじめとする環境問題が深刻化している中、本市は低炭素社会や循環型社会及び自然共生社会の実現を目指し、市民、事業者、市が一体となって取り組みを進めていく上での指針となる「沼津市環境基本計画」を策定し、平成23年から施行、平成27年には、中間見直しを行いました。

本市の自然的・社会的・歴史的条件を考慮し、環境の保全に関する取り組みを総合的かつ計画的に進めていきます。



沼津市環境基本計画

沼津市新エネルギー及び省エネルギー機器 設置費及び省エネリフォーム費補助金

概要 市では、民生家庭部門における二酸化炭素の効果的な排出量削減、災害時の自立的エネルギーの確保可能な住宅づくりの推進のため、省エネルギー機器の設置、省エネリフォームを行う方に対し補助金を交付しています。

対象者 以下の①②いずれかの方で、市税を完納していることが条件となります。
①市内に現に居住する住宅において機器の設置もしくはリフォームを実施する方
②市内に居住する予定の新築住宅において、機器の設置を実施する方、
又は居住するために機器が設置された新築住宅を購入する方

<補助額>	※平成30年度補助額
・太陽光発電システム	5千円/1kW (上限2万円)
・自然循環型太陽熱温水器	一律2万円
・強制循環型太陽熱利用システム	一律2万円
・家庭用燃料電池	一律4万円
・定置用リチウムイオン蓄電池	一律8万円
・30㎡以上の床・壁・天井の断熱	1万円/10㎡ (上限6万円)
・0.8㎡以上の窓の断熱	1万円/0.8㎡ (上限2万円)
・高断熱浴槽	一律2万円
・高効率給湯器	一律1万円

※補助金額は平成30年度現在のものであり、年度によって補助金額及び内容が変更となることがあります。詳しくは環境政策課までお問合せ下さい。

市民エコプロジェクト支援制度

平成27年度から始まった制度で、市民の方々が推進する環境保全活動を支援しています。本制度には「登録部門」と「補助金交付部門」の2部門があり、内容は以下のとおりです。

登録部門 沼津市環境基本計画の推進に寄与する活動として「登録」し、市ホームページ等での活動紹介や活動に係る助言などの支援を行います。

補助金交付部門 上記「登録」に加え、10万円を上限(※)として活動費の全部又は一部を補助します。
※平成30年度現在の上限枠であり、今後変更となる場合があります。



出前講座「環境に関する出前講座を実施しています！」

市民の方や市内の企業等からの依頼に応じ、地球環境や環境保全、ごみ問題など様々なテーマについて、市職員の派遣等による出前講座を行っています。また、地域における環境学習会等での講座の企画・運営補助等の支援も行っています。

..... 講 座

地球環境 ～今私たちができること～

地球温暖化など環境問題の解決に向けて私たち一人ひとりができることを学びます。

身近な環境について(環境政策課)

大気・水質・騒音・ダイオキシン類など身近な環境問題について学びます。

沼津市の環境への取り組みについて(環境政策課)

沼津市環境基本計画を中心に、市の環境保全に関する取り組みについて学びます。

廃棄物処理施設の現状と課題(ごみ対策推進課)

市廃棄物処理施設の現状と今後の施設更新や課題等について学びます。

みんなで考える“ごみと私たち”(ごみ対策推進課)

「ごみの現状」と(発生量・処理方法)について、また別ゲー通过して3R「ごみの発生抑制、再使用、リサイクル」について学びます。

「プラスチック製容器包装」について(ごみ対策推進課)

「プラスチック製容器包装」のリサイクルの仕組み、リサイクルの方法、分別時のポイントについて学びます。



ぬまづ環境市民大学



市では、身近な環境問題について考え、自分でできるエコ活動に取り組み、地域の環境保全につながる、「ぬまづ環境市民大学」を開催しています。平成30年度は、9月から10月にかけて、「海洋ごみの問題」及び「地産地消・旬産旬消」について、講座やフィールドワークを3回開催しました。1月以降、「食品ロス」等について、全2回の予定で市民大学を開催予定です。毎年度、様々なテーマで講座を開催しています。詳細は市ホームページをご覧ください。



アースキッズ事業



アース・キッズ事業は、小学校高学年を対象に子どもたちがリーダーとなり、家庭で地球温暖化防止に取り組むプログラムです。地球温暖化防止のため自分たちでできることが沢山あることに気づき、地球にやさしい生活の知恵を身につけてもらうことを目的としています。本事業は、小学校、静岡県地球温暖化防止活動推進センター(特定非営利活動法人アースライフネットワーク)、静岡県及び市が連携・協力し、総合的な学習の時間などを利用して実施しています。平成30年度は12校の小学校が参加しています。



夏休み親子水生生物観察会



川にすむ生き物を簡単な道具を使って採集し、その種類を調べることで、水質(水のごよれの程度)を判定する調査をします。水生生物調査は、30種の生き物が指標生物として選ばれており、それらの生き物の種類と数から、川の水のごよれの程度が4つのレベルのどの段階なのか分ります。毎年、各地で開催されており、参加者の80%が小中学生です。今年度は7月27日(金)に清水町と合同で開催し、48名の参加がありました。水質階級1から水質階級4までの指標生物が幅広く採取され、結果として水質階級1「きれいな水」と判定されました。



夏休み親子エコ教室



市では小中学生を対象とした「夏休み親子エコ教室」を開催しています。4年生以上の小中学生とその保護者を対象に、環境に配慮した活動をしている企業を見学し、リサイクルや省エネ・省資源の工夫など環境への取り組みについて学びます。本年度は、8月8日(水)、市内の小中学生18人と保護者12人の計30人が参加し、株式会社ヤクルト本社富士裾野工場と株式会社明電舎沼津事業所を見学しました。見学では環境に配慮した排水処理や、敷地内の緑化保全による自然保護など、企業の環境保全活動について学びました。

気になる取り組みは、環境政策課までお問い合わせください。(055-934-4741)

環境のこと
少しでも
気になったら
ぜひアクセス！

「エコ情報」
好評
発信中!!

「わたしも参加できるイベントは？」
「沼津市の環境行政をもっと知りたい」
そんな時は「こちらをどうぞ」

沼津市の環境施策を発信中！

沼津市ホームページ
「環境～エコのまち沼津を目指して～」



URL <http://www.city.numazu.shizuoka.jp/kurashi/sumai/kankyo/index.htm>



「沼津市トップページ」▶「市民のみなさんへ」▶「住まい・環境・ペット」▶「環境」とお進みください。

「いいね！」👍 からはじめるエコ活動

facebook 「エコのまちぬまづ」



URL <https://www.facebook.com/econumazu>



ぬまづエココツ (ECO-CO2) アクション



エコ活動への第一歩！
環境にもおサイフにもやさしい
「エコのコツ」を、チェックシートを
使って実践しよう！

右ページをコピーして
ぜひチャレンジしよう！

ホームページには、他にも
いろんな種類のシートがあるよ！



のエコアクション!

目標

- ①名前をかいて、目標を決めよう!
- ②7日間チャレンジしよう!
- ③毎日OかXを書こう!
- ④最後にOの合計を記入しよう!

1 日目	2 日目	3 日目	4 日目	5 日目	6 日目	7 日目	合計
O O X X O O O							
1	2	3	4	5	6	7	合計
約1,380円	約520円	約1,470円	約800円	約2,600円	約480円	約4,540円	約760円
28.13kg	10.45kg	29.99kg	16.25kg	29.20kg	9.86kg	14.20kg	15.48kg
182.07kg	145.99kg						

ねん
1年で減らせる
こうねつひめやす
光熱費(目安)

ねん
1年で減らせる
CO2

きにゆうれい
<記入例>

- 1 エアコン暖房時の室温は20℃を目安に設定しよう
- 2 使っていない部屋の照明は消そう
- 3 使っていない電化製品の電源プラグを抜くか、電源タップをOFFにしよう
- 4 ゴミは、ほうきで1か所に集めてから掃除機を使おう
- 5 シャワーは流したままにせず、不用時は止めよう
- 6 冷蔵庫は無駄に開け閉めせず、あけたときは早めに閉めよう
- 7 食器を洗うときは、すぐ時だけお湯を流そう
- 8 炊飯器での長時間保温はやめて電源を切ろう
- 9 自動車で発進時は、5秒で20km程度でゆっくりスタートしよう
- 10 短距離の移動は、自動車をつかわず徒歩か自転車移動しよう

第9回
ぬまづ
エコ活動
コンテスト
2018

9th NUMAZU
ECO ACTIVITIES
CONTEST
2018

はがきに貼り付けて投票しよう!

※コピーして使用しても結構です
インターネットや投票箱へも投票できます。
詳しくは3ページをご覧ください。

✂ キリトリ

第9回
ぬまづ
エコ活動コンテスト

投票用紙

※コピーして使用しても結構です

部門ごとの投票対象からお気に入りを
1つずつ選んで、投票してください!

🔴 まちのエコ (地域部門)	番
🔵 こどものエコ (幼・保・小中学校部門)	番
🔵 おうちのエコ (個人・家庭部門)	番
🟡 みんなのエコ (高校以上・職場・団体部門)	番
🟢 みどりのカーテンフォト (一般部門)	番
🟢 みどりのカーテンフォト (企業部門)	番

沼津市環境政策課

協賛

FUJITSU

SHIZGAS
静岡ガス

MEIDEN
Quality connecting the next

JAなんすん

沼津市商店街連盟

東芝機械株式会社

沼津市商店街連盟

沼津大手町商店街振興組合

沼津市生活環境部環境政策課

〒410-8601 沼津市御幸町16番1号 TEL:055-934-4741